

証券コード：2354

# 株式会社 YE DIGITAL 投資家向け会社説明会

2023.10.12



# 目次

■ 会社概要	2
■ 中期経営計画と注力分野	12
■ トピックス	26
■ 2024年2月期 第2四半期 決算概要	30
■ 株主還元	34

# 会社概要



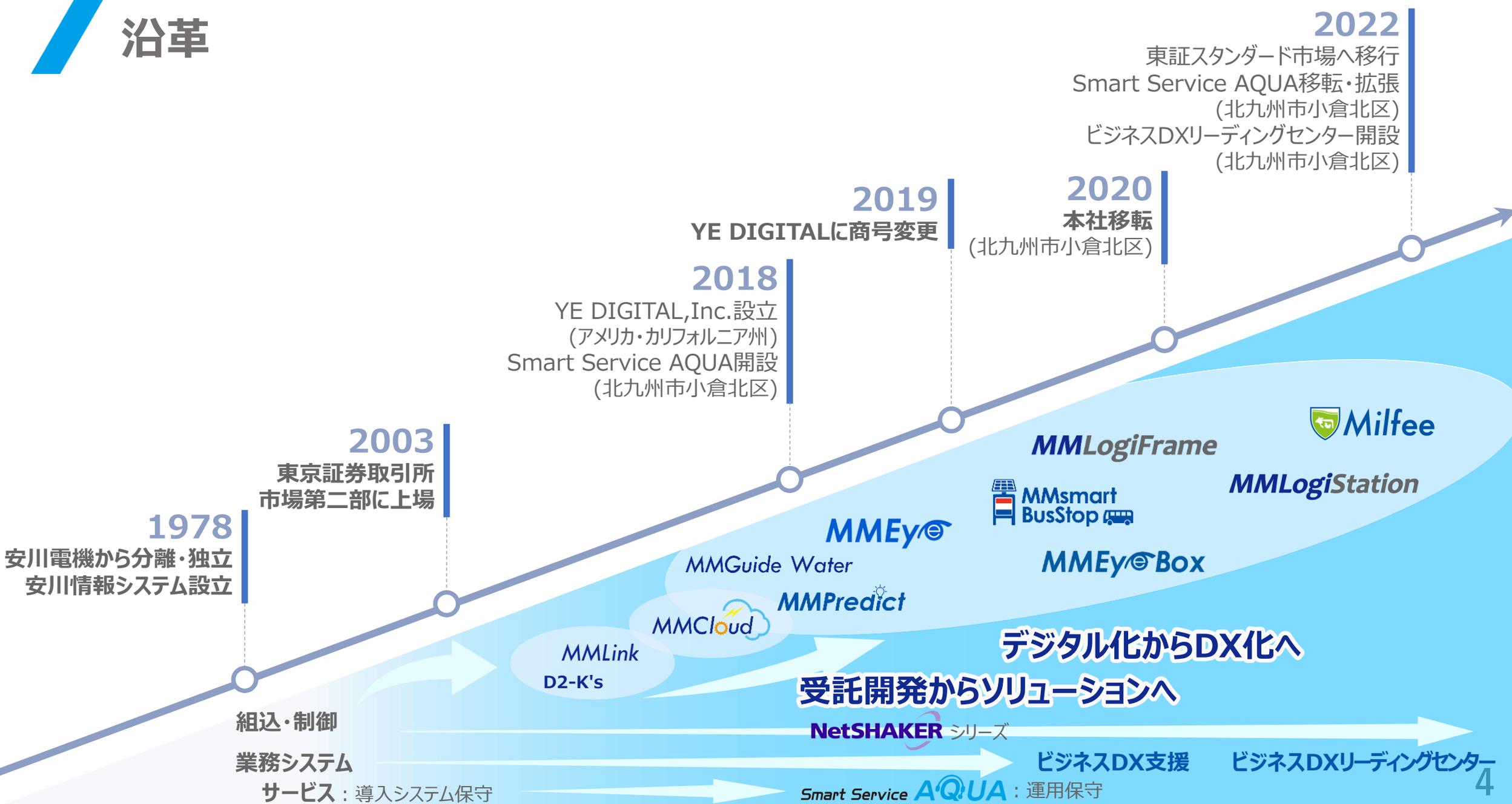
**YE** 45th **YE DIGITAL**

# 会社概要

商号	株式会社YE DIGITAL YE DIGITAL Corporation	
設立	1978年2月1日	
本社所在地	福岡県北九州市小倉北区米町2-1-21 APエルテージ米町ビル	
代表者	代表取締役会長 遠藤 直人 代表取締役社長 玉井 裕治	
資本金	7億5百万円	
事業内容	情報システムの構築・運営、情報処理ソフトウェアの開発・ 販売等の情報処理サービスの提供	
従業員数	単独：529名 連結：683名（2023年8月31日時点）	
決算日	2月末日	
上場市場	東証スタンダード市場	
連結子会社	株式会社YE DIGITAL Kyushu (福岡県北九州市)	YE DIGITAL, Inc. (米国 カリフォルニア州)



# 沿革



# 経営理念

## 経営理念

当社は、情報化時代における新たな事業展開を目的として、昭和53年（1978年）に安川電機がその情報処理機能を分離し、設立した会社である。

**当社は自主独立を経営の基調とし、高い技術力とお客様本位の姿勢によって、ITを活用したソリューションを提供し、豊かな社会づくりに貢献するとともに、社員の幸福と永続的な企業の繁栄をめざす。**

この使命達成のために、つぎの3項目を掲げ、その実現に努力する。

- 1 変化する市場ニーズを先行的にとらえ、卓越したソリューションでお客様に価値を提供すること。
- 2 先進のテクノロジーを応用し、特色ある技術を開発・向上させること。
- 3 経営効率の向上に努め、企業の存続と発展に必要な利益を確保すること。



## MISSION

### デジタルで、暮らしに明るい変革を。

YEデジタルは、仕事や生活にDXを広げていくことで、新しい暮らしのあり方を作っていきます。

## VISION

### お客様に選ばれる「No.1」企業へ。

常に期待を超える技術開発力・クリエイティブ力・サービス力で、最高の満足や感動をお届けし、お客様に選ばれるNo.1企業を目指します。

## VALUE

### 1. 製品にNo.1の誇りと責任を。

デジタル社会のリーディングカンパニーとして、製品に誇りと責任を持ち、技術や知識を磨き続けます。

### 2. お客様に感動を与える行動を。

新たな価値を生み出す発想力と、お客様に細やかな気遣いやフォローができるサービス力を高めます。

### 3. チャレンジ応援宣言。

変化を恐れず、失敗を恐れず、果敢にチャレンジする人を全力で応援します。

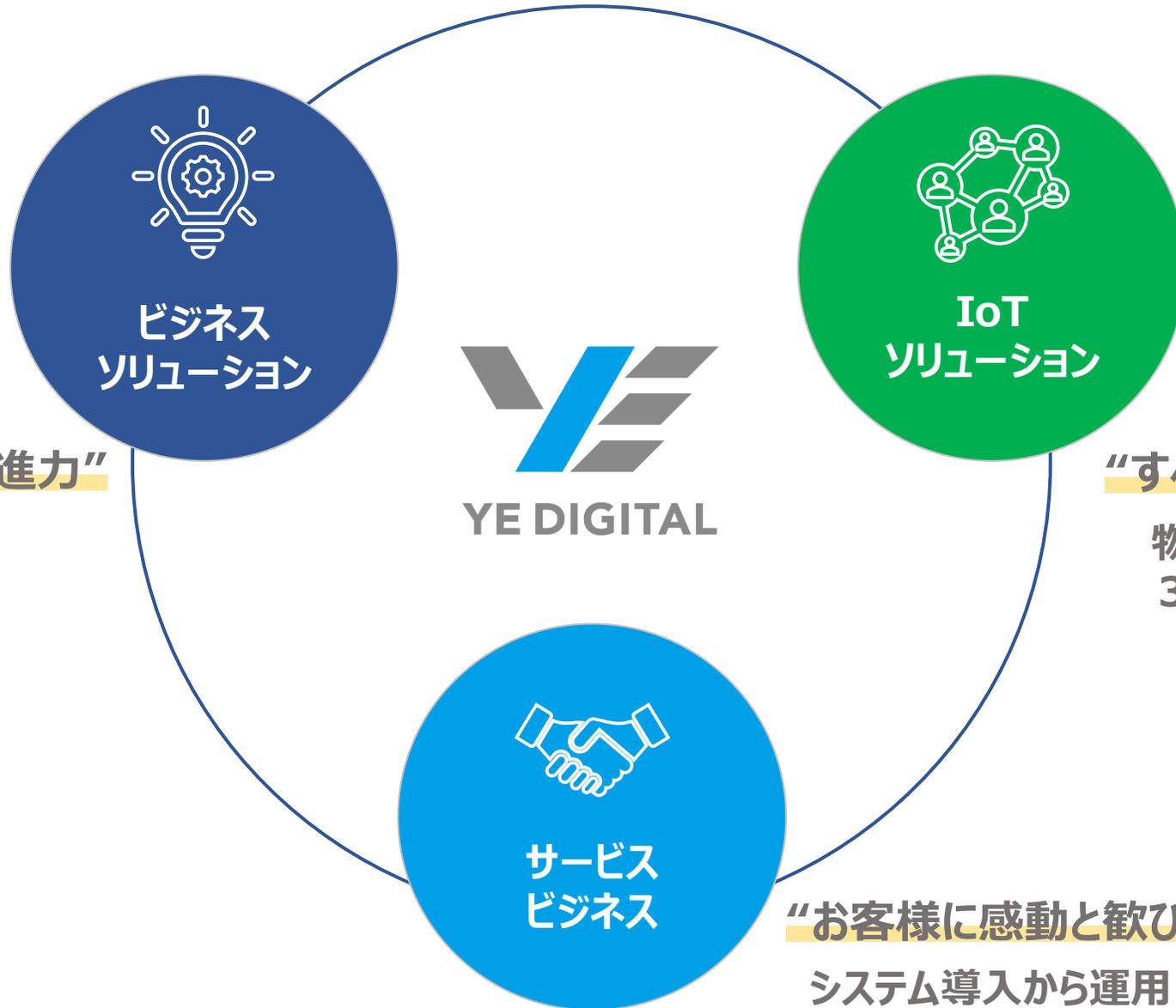
### 4. 「働く」をもっと自由に。

働いた時間ではなく成果で評価。もっと自由な「仕事と時間の関係」を創造していきます。

### 5. 未来につなぐサステナビリティ経営。

未来社会を担う企業の責任として、サステナビリティ経営を実施します。

# 事業内容



**“世界水準のビジネスDX推進力”**

ERPを中心とした  
ソリューション提供

**“すべてをサブスクに”**

物流、畜産、公共の  
3分野に注力

**“お客様に感動と喜びを”**

システム導入から運用・改善までトータル支援 7

# 事業内容 ビジネスソリューション

## ビジネスソリューション

“世界水準のビジネスDX推進力” ERPを中心としたソリューション提供

### ■ ERP導入支援

- ・豊富な実績で培われた技術・知見・ノウハウを活用し、お客様に最適なシステム導入・移行を実現
- ※ERPとは、企業の経営資源を一元管理し、経営を効率化するためのシステム

### ■ 顧客業務システムの構築

- ・顧客管理、生産管理、受発注管理などのシステム構築

### ■ 健康保険システムの構築

- ・健康保険者向けのシステム構築



# 事業内容 IoTソリューション

## IoTソリューション

“すべてをサブスクに” 物流、畜産、公共の3分野に注力

### ■ 物流DX

- ・大手マテハンメーカーのSIパートナーとして長年の経験と豊富な実績により、自動化設備導入に必要なシステムを提供

### ■ 畜産DX

- ・飼料残量の見える化で飼料製造・流通の最適化を支援

### ■ スマートシティ

- ・バス事業者の業務効率化と利用者の利便性向上を支援

### ■ インターネット・セキュリティ

- ・文教向け多機能アプライアンスサーバの開発・販売



# 事業内容 サービスビジネス

## サービスビジネス

“お客様に感動と喜びを” システム導入から運用・改善までトータル支援

### ■ 導入支援

- ・システム導入から効果を想定したコンサルティングを行い、様々な初期対応を支援

### ■ 定着化支援

- ・ハード・ソフトを問わないカスタマサービスを提供し、業務の定着化を支援

### ■ 運用支援

- ・導入したシステムやサービスを滞りなく運用し続けるための支援

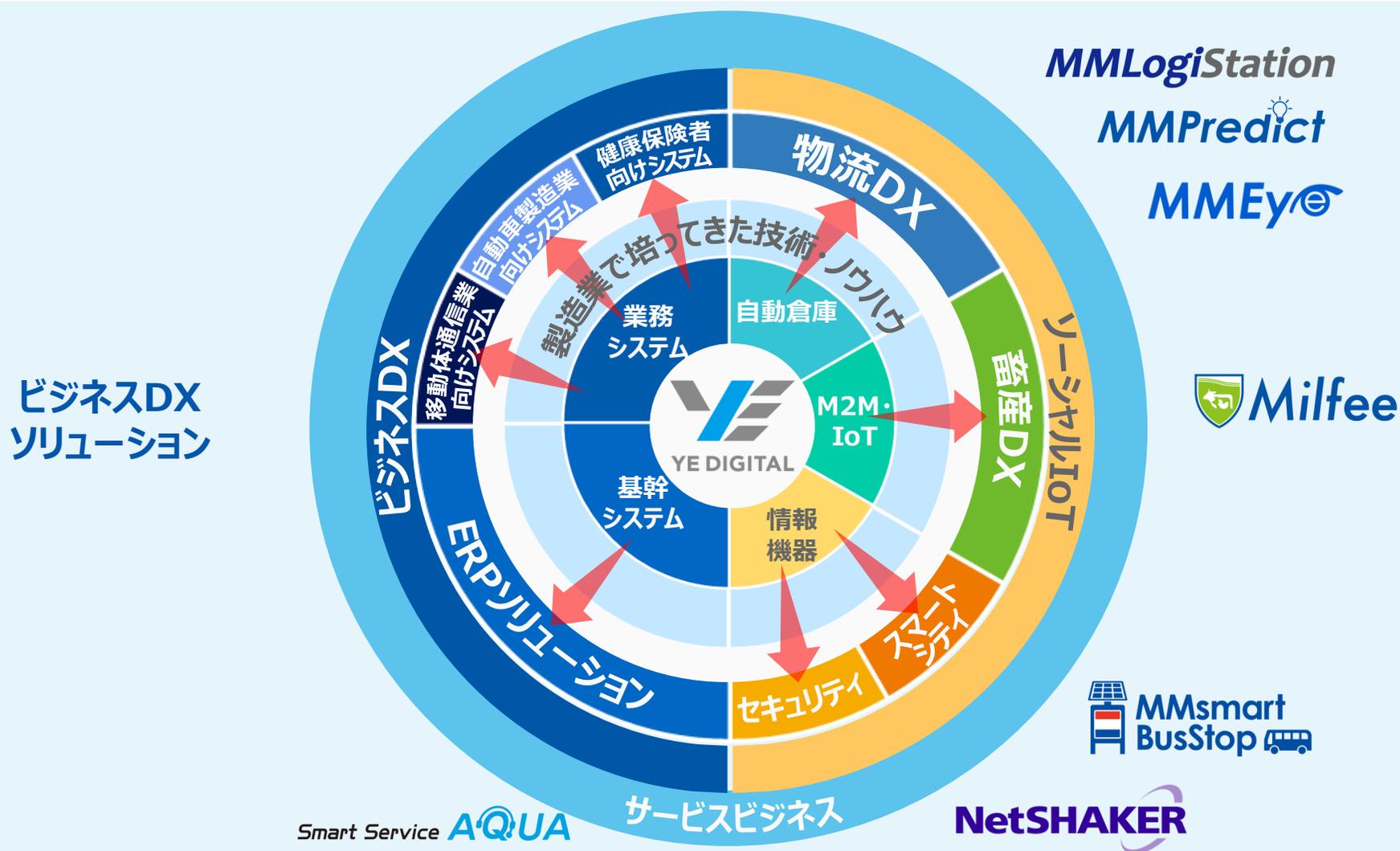
### ■ 改善支援

- ・お客様のビジョンに沿ったアクティブな提案をし、業務改善を支援



# YE DIGITALの強み

時代とともに変化し続ける社会のニーズ・シーズに対応し、製造業での長年の経験から蓄積された技術とノウハウを駆使して、ITで最適な課題解決ソリューションをご提供します。



# 中期経営計画と注力分野



**YE** 45th **YE DIGITAL**

# ソリューション提供モデルと経営環境

## ソリューション提供モデル

## 経営環境

顧客・ユーザー

① **ビジネスソリューション**

- ビジネスDX  
(ERPソリューションなど)
- 顧客向けシステム開発
- ⋮

② **IoTソリューション**

- 物流DX
- 畜産DX
- スマートシティ
- ⋮

③ **サービスビジネス**

- SmartService AQUA

- ・サステナビリティ経営の重要性
- ・人的資本経営の重視(人材育成、多様な人材の活用、エンゲージメント等)
- ・社内DX、業務改革の推進・強化 など

### ① ビジネスソリューション

- ・「2025年の崖」の直面と克服、ITシステムの老朽化/IT人材不足
- ・国内のDXの取り組みの遅れ、未着手企業が多数

### ② IoTソリューション

- ・人手不足/従事者の高齢化(畜産業界、物流業界など)
- ・環境問題や食品ロス問題等の対応(地球温暖化、畜産環境問題、食品ロス・廃棄ロスなど)

### ③ サービスビジネス

- ・クラウド需要の拡大と成長
- ・消費行動の変化と多様性の進化
- ・ビジネスモデルの創出と進化  
サブスク、シェアリングエコノミーなど

## 22-24中期経営計画の基本方針

# お客様に選ばれる「No.1企業」へ

変革と挑戦により、お客様に感動を与える画期的なソリューションを提供し、「お客様に選ばれるNo.1企業」を実現する

**方針 1. 世界水準のビジネスDX推進力による顧客ニーズの獲得拡大**

**方針 2. 社会をリードするAI・IoT製品による事業規模・領域の拡大**

**方針 3. 顧客に感動を与えるサービス提供によるストック率の拡大**

**方針 4. 社員と会社の挑戦と成長によるサステナビリティ経営の実現**

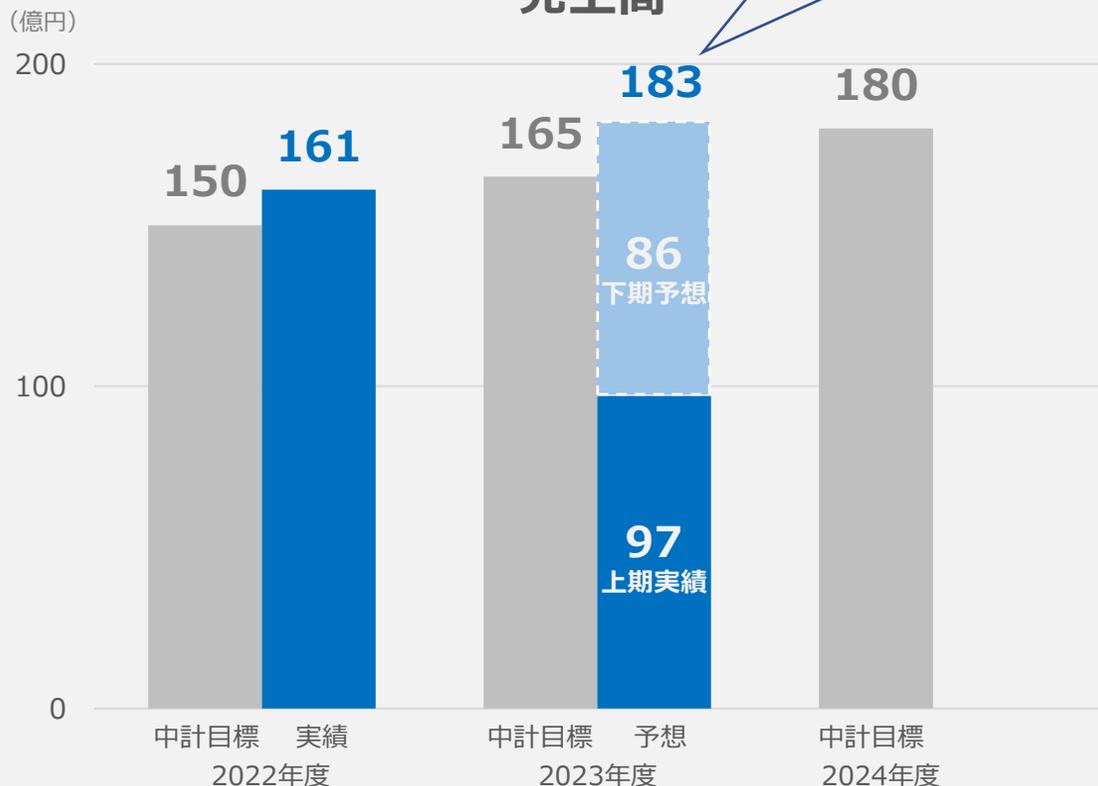
# 22-24年度 中期経営計画の遂行状況（定量的）

## 遂行状況

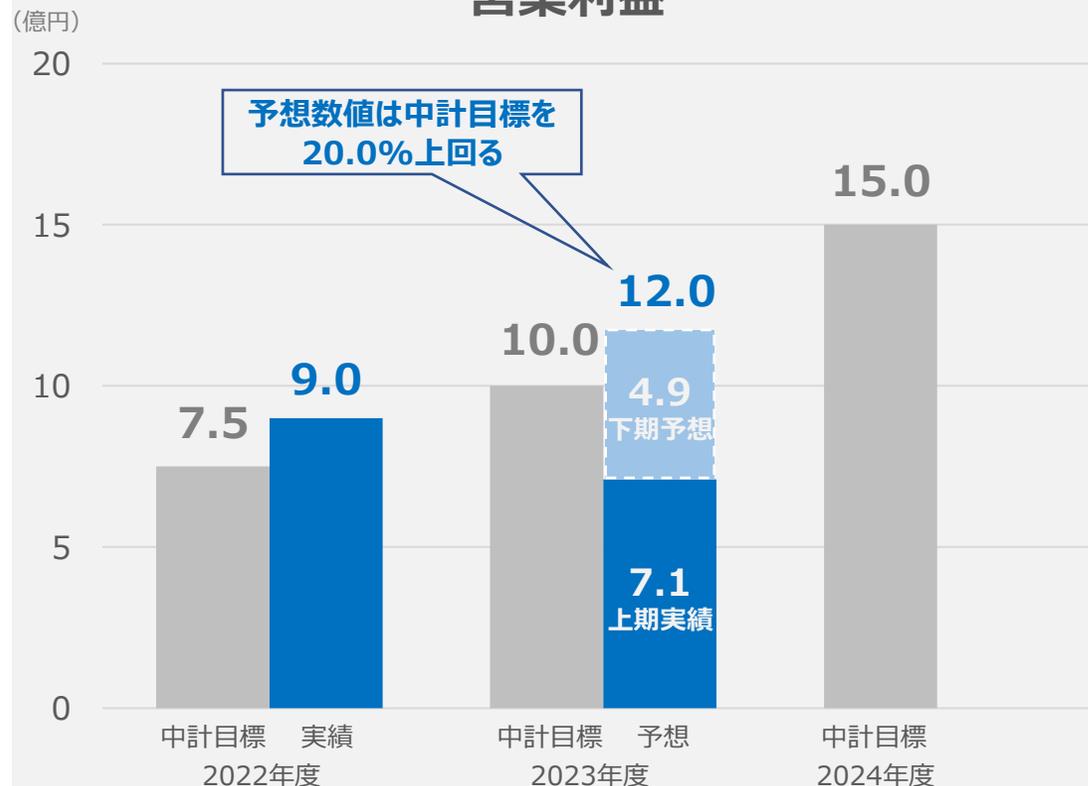
2022年度:売上高、営業利益ともに目標を達成

2023年度:売上目標を前倒して達成予定！営業利益は2024年度目標15億円が見えてきた！

### 売上高



### 営業利益



## 22-24中期経営計画の遂行状況（定性的）

### 方針1．世界水準のビジネスDX推進力による顧客ニーズの獲得拡大

- 安川電機様が取組むDXプロジェクト(YDX)のプライム経験によるDX推進の経験・ノウハウを蓄積、現在も継続中
- メタバースを使ったお客様プロジェクトの「共創の場」として、ビジネスDXリーディングセンターをオープン（2022年7月）
- アビームコンサルティング様や富士通様とビジネスDX分野での戦略的協業を推進中
- DX人材の継続的な育成（SAP認定資格者数：110名（2023.10.1現在））

### 方針2．社会をリードするAI・IoT製品による事業規模・領域の拡大

- MMLogiStation(倉庫実行システム(WES))は2022年度後半から受注が拡大。  
例)カインズ様次世代大型物流センターで採用（2023年2月）をはじめ大規模倉庫での採用増加
- MMPredict(故障予知サービス)は大規模物流倉庫のコンベア故障予知で採用、横展開推進
- Milfee(飼料タンク残量管理システム)の提供開始（2022年7月）、社会情勢(海外の供給制約や飼料価格高騰)の影響もあるが、全国で382農場で導入
- スマートバス停も全国各地へ拡大中（18道県、39事業者に導入）

## 22-24中期経営計画の遂行状況（定性的）

### 方針3．顧客に感動を与えるサービス提供によるストック率の拡大

- サービス事業の拡大に備え、新たな付加価値サービスを創出する環境づくりを実施するため、Smart Service AQUA を移転・拡張（2022年6月）
- ビジネスDXやAI/IoT事業と連携したサービスビジネスモデルの確立に向け、開発部門と協業・検討中
- ビジネスDXサービスモデルの新規モデルの獲得と健康保険者向けシステムの運用保守サービスをS I システム部門から移管

### 方針4．社員と会社の挑戦と成長によるサステナビリティ経営の実現

- 次世代リーダーや若手社員（新卒入社1年目～3年目）の育成につき継続的に実施
- 働きがいや働きやすさなど従業員のエンゲージメント向上の取組みを継続的に実施
- チャレンジを応援する制度を新設（2023年6月）
- 社内DXの推進による業務改革の実現  
プロジェクト管理システムの刷新によるマネジメントの強化やタレントマネジメントシステムの導入  
人事システムの刷新に向けて取組み中

# 注力分野

「ビジネスDX」分野と物流・農業・社会基盤のIoT化を推進する「ソーシャルIoT」分野に注力し  
両分野での新たな付加価値創出によるサービスビジネスの充実へ

## ビジネスソリューション



### ビジネスDX

世界水準の基幹システム構築で培ったDX化のノウハウを、様々なお客様へ展開

ビジネスDX  
ソリューション

## IoTソリューション



### 物流DX

倉庫自動化ソリューションで物流DXを推進し、拡大する流通市場の課題を解決

MMLogiStation  
MMPredict



### 畜産DX

政府の飼料流通合理化対策における飼料輸送の安定化・効率化をタンクの飼料残量見える化で支援

Milfee



### スマートシティ

時刻表やお知らせなどリモート配信できるスマートバス停で利便性の高いまちづくりに貢献

MMsmart  
BusStop

## サービスビジネス



### Smart Service AQUA

最新テクノロジーと高度なセキュリティで構築されたカスタマーサービスセンターで高付加価値サービスを提供

Smart Service AQUA

## 注力分野 – ビジネスDX –

世界水準の基幹システム構築で培ったDX化のノウハウを、様々なお客様へ展開  
データドリブン経営の実現・ビジネス変革による企業価値向上を支援

当社の  
DXの強み

- ① グローバル企業の世界水準の基幹システム構築推進力
- ② ビジネスDXリーディングセンターで場所・時間・言語を越えた共創の場を提供
- ③ 戦略的協業パートナーと連携体制を構築し、専門チームでDX化支援

戦略的協業パートナー

アビームコンサルティング株式会社様 日本マイクロソフト株式会社様 富士通株式会社様



# 注力分野 -物流DX-

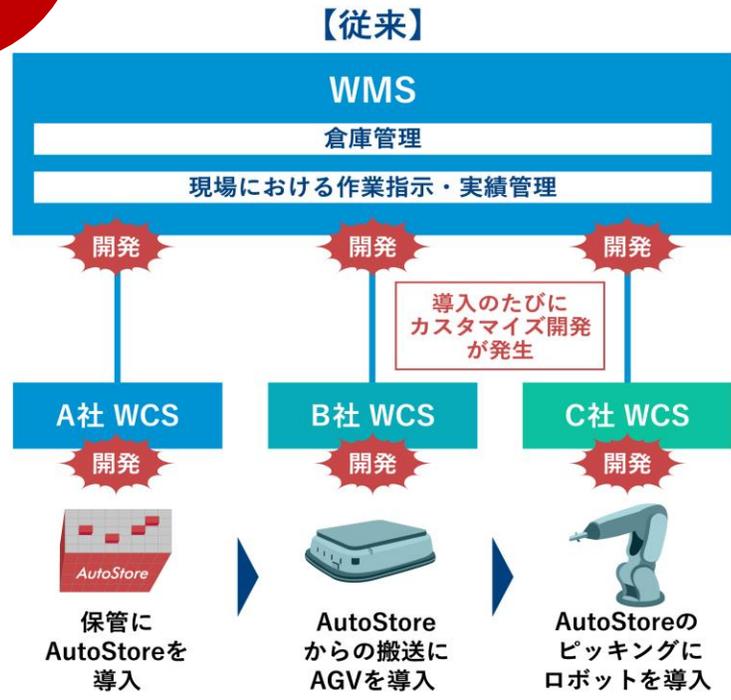
## 大規模物流センターで採用 倉庫自動化システム **MMLogiStation**

ホームセンター国内最大手のカインズ様の三重県桑名市に建設中の次世代大型物流センターでの採用  
これを機に、小売や流通などの**大規模物流倉庫を持つ多くの企業様からの受注拡大**



お客様に  
選ばれる  
ポイント

- ① 物流の基幹システムであるWMS（倉庫管理システム）の負担軽減
- ② 倉庫内のすべてのオペレーションの制御・管理を一元化
- ③ プラグインでスピーディーに自動化設備追加



自動化設備ごとに、I/Fに合わせてWMSの開発が必要



自動化設備ごとのプラグインにより容易に追加が可能

WMS（倉庫管理システム）  
WES（倉庫実行システム）  
WCS（倉庫制御システム）

# 注力分野 -物流DX-

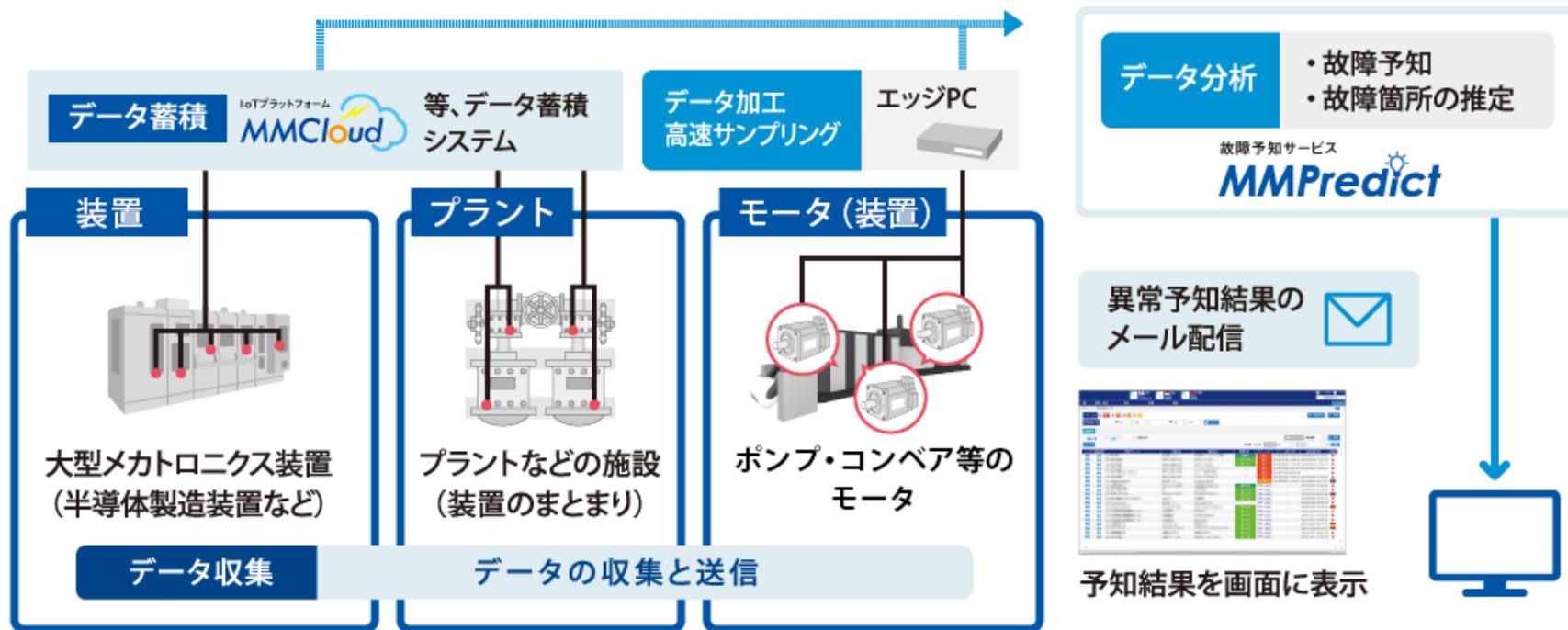
大手製造小売企業の物流倉庫で採用 AI故障予知サービス **MMPredict**

最新鋭の倉庫を目指す大手企業が認めたセンサーレス&高精度なコンベヤ故障予知

EC市場ニーズが高まる中、24時間365日の出荷作業で稼働する倉庫を持つ企業から注目

お客様に  
選ばれる  
ポイント

- ① 安川電機グループの強みを活かし、異常検知のセンシングはモータ信号を採用  
※ センサーレスにより初期投資も抑え、センサー設置と同等以上の検知精度を実現
- ② エンジニアリング系AIと当社独自の分析ノウハウで異常なローラーの推定と搬送ベルトの蛇行を検知
- ③ 技術者の知見追加学習機能(特許取得)により、故障予兆検知の精度を向上



## 注力分野 -畜産DX-

あらゆる種類の飼料の残量を高精度に見える化 飼料タンク残量管理ソリューション 

海外製品では計測が困難だった粉状のマッシュ飼料も！残量算出精度95%！

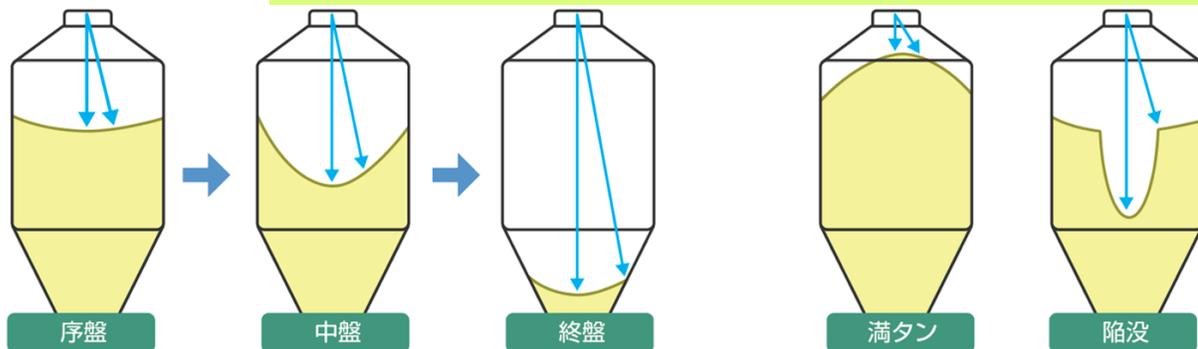
目視確認や、人手による棚卸作業がなくなり、人為的ミスによる飼料の急な発注・誤発注を防止

導入される  
ポイント

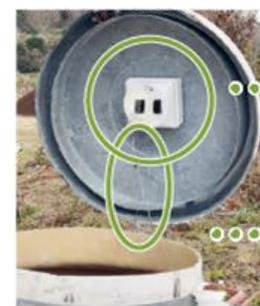
- ① 当社独自の演算アルゴリズム(特許取得)で、残量確認困難な細かい粉状の飼料も高精度に算出
- ② 端末は強力マグネットでタンク蓋の内側(金属)に設置可能
- ③ 省電力なLPWA (Low Power Wide Area) 通信の活用によりバッテリー駆動で電源工事不要
- ④ 携帯電話が繋がるエリア (LTE通信) でも、つながりにくいエリア (LoRa親子通信) でも使用可能

### ▼ 計測イメージ

赤外線センサー2個で誤検知しやすい満タンや陥没も高精度に計測



### ▼ 設置イメージ



Milfee端末  
(センサー+LPWA通信)  
強力マグネットによる  
金属フタへの固定

落下防止ワイヤー

# 注力分野 -スマートシティ-

スマートシティの推進で各地へ拡大 スマートバス停クラウド

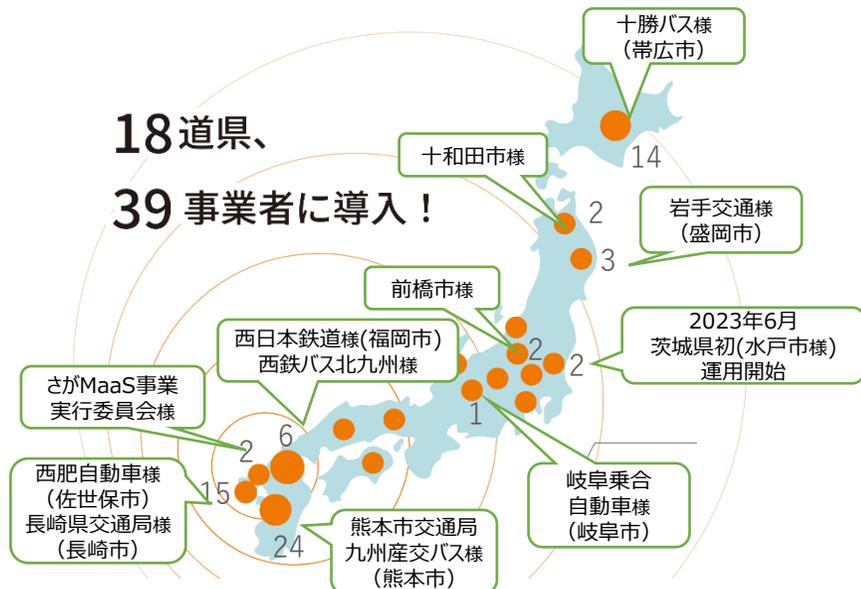


時刻表やお知らせなどをリモート配信できるスマートバス停で、利便性の高いまちづくりに貢献

選ばれる  
ポイント

- ① 時刻表の多言語表示や観光情報の発信等により、外国人観光客に対応した環境（インバウンド対応）
- ② 投資と収入のバランス・設置環境に合わせたラインアップ
- ③ バス停の電子化によるリモートでの情報更新で運用・管理の作業負荷軽減を支援
- ④ 国や自治体の補助金活用による導入費用の軽減

## 全国各地へ拡大中



動画など豊富な情報配信が可能なモデルや電源供給がなくても稼働できるモデルなどのラインアップ

繁華街モデル Type-A	市街地モデル Type-B	郊外モデル Type-C	楽々モデル Type-D
55インチ	31.5インチ	31.5インチ	13.3インチ

※図中の数値は2022年4月～2023年6月導入実績数

# 注力分野 – Smart Service AQUA –

カスタマーディライト お客様に感動と喜びを *Smart Service* **AQUA**

ビジネスDXやAI/IoT事業と連携してワンストップでサービス提供

利用される  
ポイント

- ① 技術部門と連携して導入から運用保守までトータルサポート
- ② ビジネスDXやAI/IoTの様々な専門知識を持った技術者が直接に支援対応
- ③ AQUAからの継続的なサービス支援により、お客様へ新たな付加価値を提供



**ビジネスDX**  
サービスレベルのスパイラルUP！

- ① 導入したシステムの円滑な運用実現を支援
- ② 運用から顕在化した課題の解決・改善を提案
- ③ 新高付加価値サービスの導入・定着化支援

**ストック率の拡大**

*Smart Service* **AQUA**

サービスビジネスの確立  
サービスレベルの向上

**AI/IoT**  
全てをサブスクリプションに！

- ① データ等を活用した新たなビジネスの創出
- ② 継続的な運用・保守の支援（ストック化）
- ③ ストックの源泉となる機器の導入・設置支援

# 22-24年度 中期経営計画における成長を支える人材への投資

## 【当社のサステナビリティ】

IT企業として、現在から将来への①ニーズに応えることのできる人材と能力を確保するとともに、②社員全員が働きがいを持って仕事と役割を遂行できる会社経営を実現

イノベーション力（挑戦と成長）

従業員の働きがい

## これまでの取組みと実績

### ①人材への投資

- 若手のチャレンジ機会の創出
- 女性の管理職登用の推進
- 海外研修

### ②働き方への投資

- オフィス環境・ツールの整備
- エンゲージメントサーベイによる社員の意見反映
- メンタルコーチ常駐によるメンタルサポート

人材・働き方への投資

従業員が育ちやすく、働きやすい環境が整備される

さらなる投資が可能になる

持続的成長

人材・働きがいの成長・向上

会社・事業の成長

人材の成長（イノベーション力）

- 若手の抜擢
- 女性管理職の増加

従業員の働きがいの向上

- 平均勤続年数：約16年
- 離職率：約1.5%  
(2022年度実績)

従業員のパフォーマンスが上がる

- 中期経営計画達成に向けて、順調な進捗
- 2023年度2Q実績 売上・利益 過去最高を更新

トピックス



**YE** 45th **YE DIGITAL**

カインズ様も熱望！リアルタイムな生産性向上のリカバリープラン作成を支援

## Topics 「Analyst-DWC」、2024年春提供開始

倉庫実行システム(WES)「MMLogiStation」シリーズのサービスとして、物流市場での実績豊富なアビームコンサルティング様と意思決定支援ダッシュボード「Analyst-DWC」を共同開発

\* DWC : Digital Warehouse Controller  
(デジタル倉庫コントローラー)

Analyst-DWCの  
強み

- ① データに基づく倉庫管理者の正確な意思決定を支援
- ② 誰でも、倉庫管理者としての業務遂行が可能
- ③ 作業員単位の生産性シミュレーションを実現

導入効果

・残業時間**35%**改善 ・人件費**8%**削減

※従業員数約80名の物流倉庫の場合  
アビームコンサルティング様によるPoCで確認された効果一例

### ■ 「Analyst-DWC」とは

稼働状況の可視化・分析により、倉庫管理者の意思決定を支援

クラウドのダッシュボードサービスとして提供



物流業務のさまざまなシステムと連携

WMS

WES

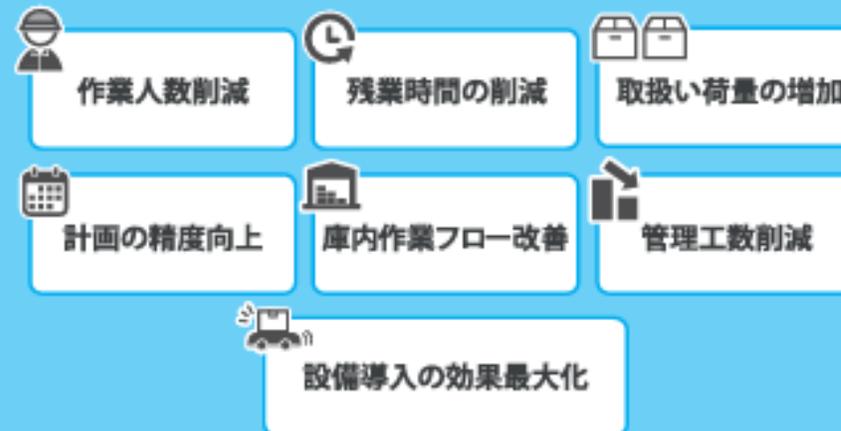
WCS・RCS

その他

MMLogiStation

### ■ 「Analyst-DWC」で期待できる改善効果

期待できる改善効果



# Topics 「Milfee」、飼料流通合理化を支援

今年度、畜産農家への飼料の安定供給を図る目的で、政府による飼料流通合理化支援実施「Milfee」の飼料残量の見える化で、飼料輸送のDXを推進し、飼料流通合理化を本格的に支援

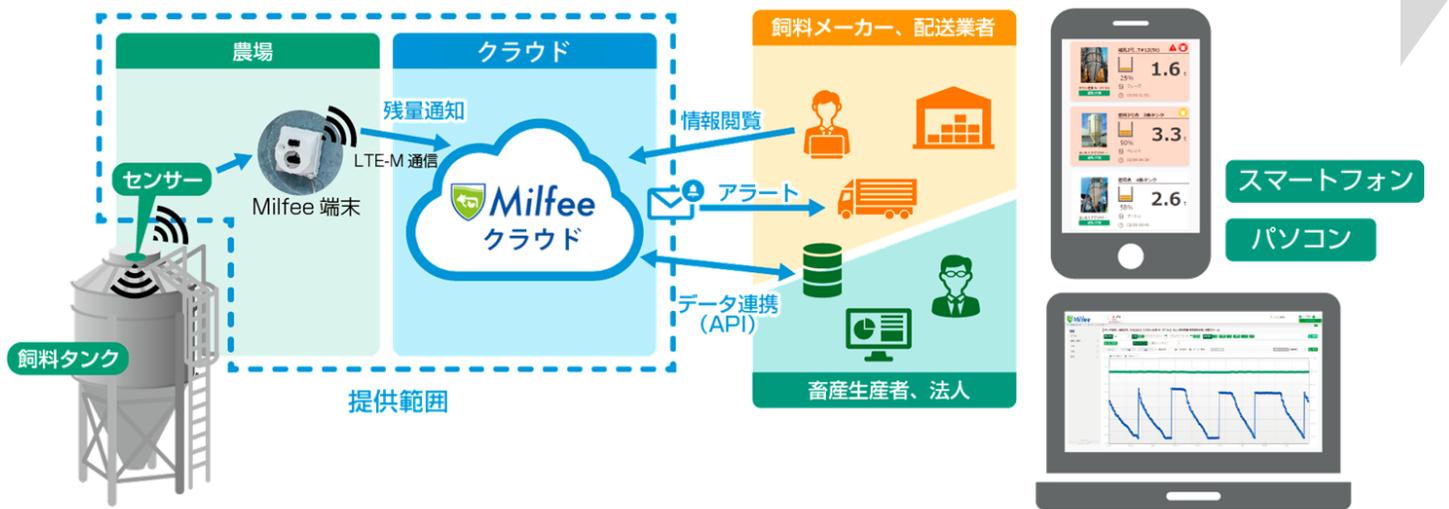
飼料流通  
の合理化  
へ支援

飼料流通の課題（直前の発注、輸送の長距離、2024年問題など）に対し、Milfeeの残量確認で課題解決し、業務効率化を支援

タンクの飼料残量見える化により、飼料製造・流通を最適化！

- 生産者毎に配合が異なる飼料製造のリードタイムを確保
- 直前発注・急な変注から飼料メーカーを解放！計画的な配送が可能に

飼料販売業者の  
システムと  
データ連携で  
畜産農家への  
飼料の安定供給を  
実現



- 飼料残量の巡回確認不要
- 突発発注の削減
- 飼料製造の効率化
- 飼料流通の効率化

# Topics スマートバス停 合併会社「マチディア」設立

当社は、九州博報堂様、西日本新聞社様、KBCグループホールディングス様、ドーガン様の5社で「まちの発展を願う」をコンセプトに、スマートバス停の広告事業を主とした合併会社マチディア株式会社を2023年8月に設立



## ■ 設立の目的

スマートシティ分野の事業拡大のため、各社のコンテンツ、ノウハウを掛け合わせ、スマートバス停を高い信頼・求心力を持つメディア化するとともに、九州のサイネージ広告市場のリードを目指す

## ■ 合併会社の概要

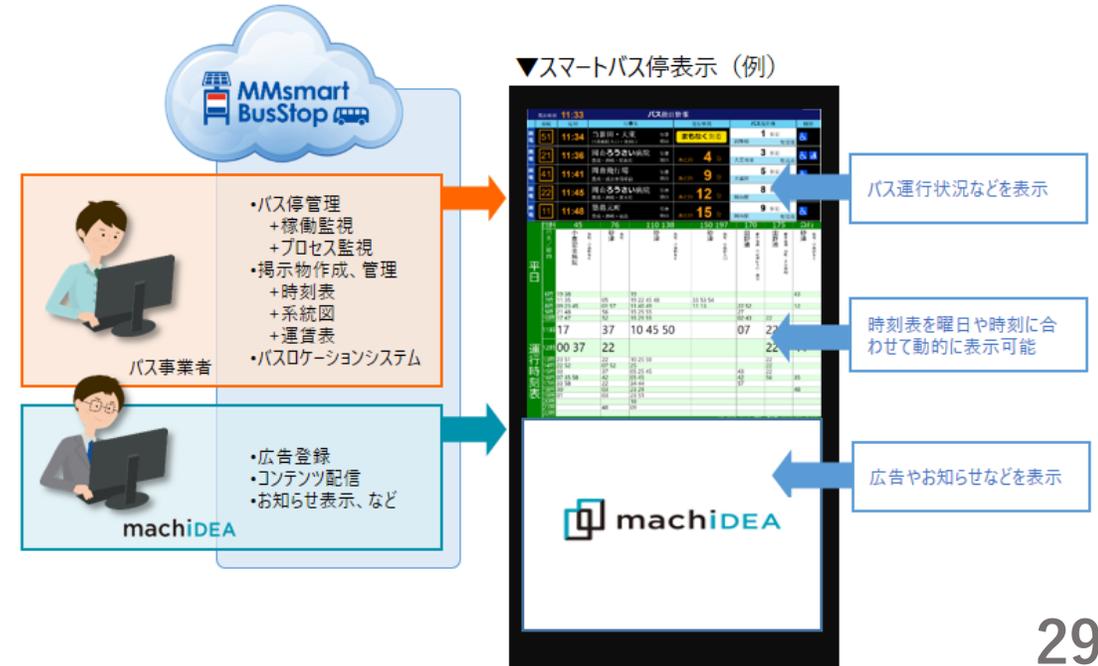
名称：マチディア株式会社

所在地：福岡県福岡市中央区大名二丁目4番22号

設立年月：2023年8月

事業内容：広告事業、IT流通事業、DX事業

## ■ サービスイメージ



# 2024年2月期 第2四半期決算概要



 45<sup>th</sup> YE DIGITAL

# 2024年2月期第2四半期（累計）業績ハイライト

- DX化需要の増加に伴い、ビジネスDXや物流DXが好調に推移し、**大幅に増収増益**
- 要員・賞与増による間接費増や外注委託費増による原価率上昇が発生するも、売上増により**利益大幅増**
- 売上高、利益面のいずれも**過去最高**を更新

単位：百万円  
(百万円未満切捨て)

	2022年度 第2四半期実績	2023年度 第2四半期実績	増減率	2023年度 通期 業績予想	進捗率
売上高	7,083	★ 9,749	+37.6%	18,300	53.3%
うち ビジネスソリューション	5,228	7,502	+43.5%	13,640	55.0%
うち IoTソリューション	1,854	2,247	+21.2%	4,660	48.2%
営業利益	139	★ 715	+411.8%	1,200	59.6%
経常利益	97	★ 767	+691.0%	1,250	61.4%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	304	★ 473	+55.5%	770	61.4%
1株当たり 四半期・当期純利益金額：円	16.79	26.11	+9.32	42.46	—

※サービスビジネスの売上は、ビジネスソリューションとIoTソリューションに含まれています。  
 ※通期業績予想は、第2四半期決算発表時(2023年9月29日)に上方修正いたしました。  
 ※★は過去最高

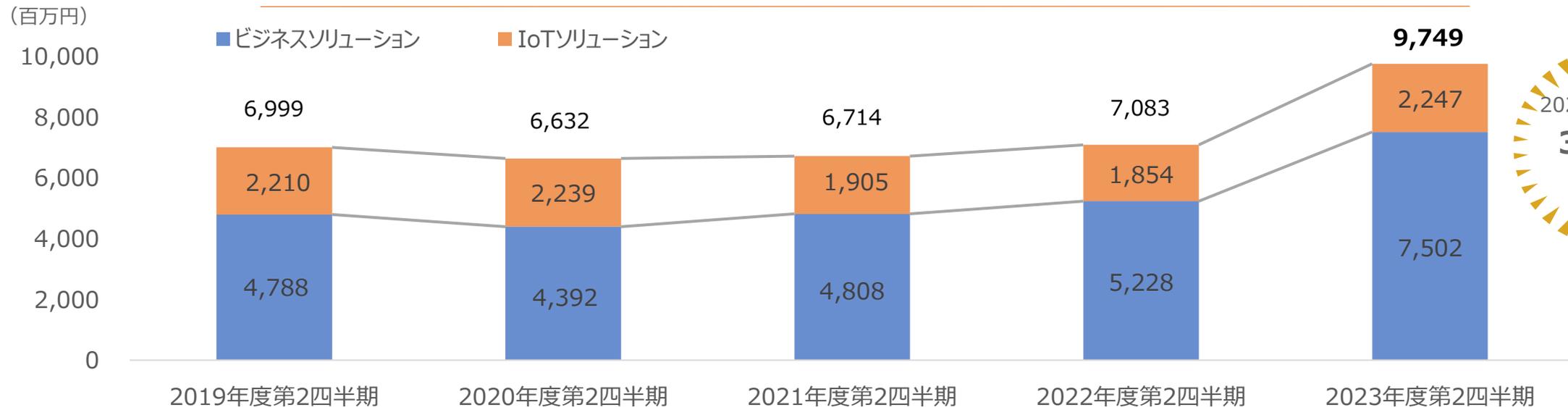
# 2024年2月期第2四半期（累計） 事業別の概要

## ビジネス ソリューション

- **売上高は75億2百万円（対前年同四半期比43.5%増）**
- ERPソリューションは、当社プライムでのビジネスDX推進・構築の継続的な取組みで引き続き好調に推移し、前年同四半期に比べ増加
- 健康保険者向けシステム構築は、増加
- 移動体通信事業者向け開発は、減少

## IoTソリューション

- **売上高は22億47百万円（同21.2%増）**
- 物流DX事業は、旺盛な需要に対するソリューション拡販により前年同四半期に比べ増加
- インターネット・セキュリティ関連製品は、増加
- 畜産DX分野やスマートシティ向けソリューションは、堅調に推移
- 生産ライン等のFAシステム構築、食品加工向けなどのAI・IoT製品は、減少



2020年度2Qから  
**3期連続  
増収!**

# 2024年2月期 通期 業績見通し

- DX推進を背景とした需要は増加傾向にあり、**通期業績見通しを上方修正**
- ビジネスDXでの好調継続、需要が旺盛な物流DXでの拡販などにより、目標達成を目指す
- 配当方針、通期業績見通しを踏まえ、**年間配当予想を上方修正**

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	2023年度 前回予想	2023年度 今回予想	前回予想比		2022年度 実績	前年度実績比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	18,000	<b>18,300</b>	+300	+1.7%	16,151	+2,148	+13.3%
営業利益	1,100	<b>1,200</b>	+100	+9.1%	909	+290	+31.9%
経常利益	1,150	<b>1,250</b>	+100	+8.7%	836	+413	+49.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	700	<b>770</b>	+70	+10.0%	783	△17	△2.2%
1株当たり当期純利益金額：円	38.60	<b>42.46</b>	+3.86	—	43.19	△0.73	—
年間配当金（うち中間配当金）	10円(5円)	<b>12円(5円)</b>	2円(—)	+20.0%(—)	10円(5円)	2円(—)	+20.0%(—)

※前回予想：2023年8月25日発表の修正予想値

株主還元



**YE** 45th **YE DIGITAL**

# 株主還元

## 配当方針

今後の事業拡大に向けた内部資金の確保と株主各位への長期にわたる安定的な配当を念頭に、財政状況、利益水準、配当性向などを総合的に勘案して実施します。

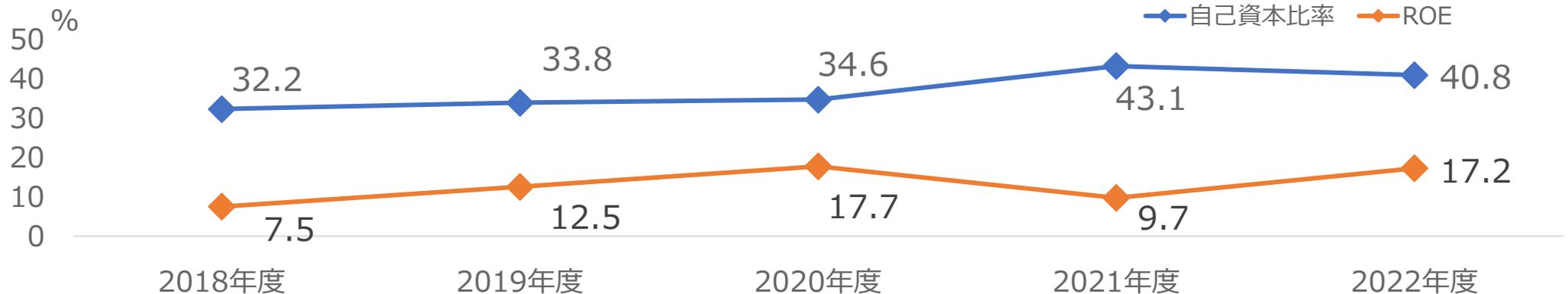
## 配当予想

**2024年2月期 予想配当性向：28.3%**

**2024年2月期 年間配当予想額：12円（中間：5円、期末：7円）**

	第2四半期	期末	年間	配当性向
2023年2月期	5円	5円	10円	23.2%
2024年2月期(予想)	5円	7円	12円	28.3%

## ROEと自己資本比率の推移



 デジタルで、  
暮らしに明るい変革を。

